

「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

研究課題名：医学祭・秋の散歩道における来場者を対象とした「災害時健康リスク評価票」の集計分析：医学祭「秋の散歩道」アンケート既存データの二次解析研究（横断研究）

・はじめに

日本では地震・豪雨・土砂災害が頻発し、国は「自助・共助」を中核とする防災を推進しています。一方で家庭内の耐震対策や備蓄などの実行は伸び悩みが指摘されています。本研究では、2025年度「医学祭・秋の散歩道」で無記名で回収したアンケート（災害時健康リスク評価票）の既存データを二次分析し、来場者の健康リスクと自助・共助の備えの到達度を可視化してボトルネックを特定し、大学・地域の防災啓発や優先介入の検討に役立てます。

こうした研究を行う際には、アンケートに記載した情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

本研究は、2025年度イベント当日に回収した無記名アンケート既存データを用い、来場者の健康リスク指標と自助・共助の備え項目との関連を分析し、備えの到達度および関連因子（被災経験・防災教育など）を明らかにすることを目的としています。当日、本アンケートを基に会場で項目をチェックしながら、ご自身の状況を振り返り、記入後は回収箱に投函していただきました。そのため、用紙自体は参加者のみなさまの手元には残らず、研究チームが本用紙を回収いたしました。この収集データは学内の研究用ストレージで適切に管理し、記述統計、群比較、ロジスティック回帰等の統計解析を実施します。なお、個票データの他機関への提供は行わず、学外への個票データの提供も一切いたしません。研究成果は、個人が特定されない形に集計したうえで、学会発表や学術論文等で公表する場合があります。

本アンケートは、2025年度 群馬大学医学祭「秋の散歩道」において、来場者の皆さまに災害時の健康リスクや備えを自己確認していただくことを目的として実施したもので、当初から研究目的で回収したものではありません。

今回の研究では、この既存の無記名アンケートデータを匿名のまま二次利用し、集計・解析のみを行います。

・研究の対象となられる方

群馬大学昭和キャンパス保健学科棟にて 2025 年 10 月 25 日、26 日に開催された「医学祭・秋の散歩道」の会場で、配布した評価票に任意で記入し、無記名で投函された来場者の方約 400 人が対象です。

評価表は無記名であるため、研究参加の拒否の申し出があったとしても個人の特定ができないことから、対応できませんのでご了承ください。

・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の許可日より 2026 年 3 月 31 日までです。

情報の利用又は提供を開始する予定日は 2025 年 12 月です。

・研究に用いる試料・情報の項目

いずれも無記名アンケートの回答で、氏名・住所・連絡先等の直接識別子はありません。主な項目は以下の通りです。

- ・ 個人リスク（①～⑦）：①年齢区分、②InBody 評価、③血管年齢、④体力測定、⑤スポーツ頻度、⑥外傷歴、⑦歩行状態
- ・ 環境・備え（⑧～⑮）：⑧助けてくれる人の有無、⑨連絡手段の可否、⑩耐震対策、⑪防災グッズ、⑫備蓄、⑬避難所認知、⑭被災経験、⑮防災教育受講

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

本研究は既存の無記名データのみを解析対象とするため、研究対象者が直接受ける利益及び不利益はありませんが、高齢者等の脆弱性を考慮した自助・共助の優先課題を明確化することで、大学および地域における防災啓発や支援設計の改善に資する社会的利益が期待されます。

・個人情報の管理について

回答は無記名で、個人を特定できる情報は収集しません。研究用データには研究用 ID を付し、アクセス権限を限定した暗号化ストレージで管理します。学会・論文発表では、個人が特定されない集計結果のみを公表します。

・試料・情報の保管及び廃棄

取得データは USB に保存し、群馬大学大学院保健学研究科・老年看護学演習室の鍵付き研究保管庫で厳重に管理します（研究用パソコンへの恒常保存は行いません）。保管期間は研究終了後 10 年間とし、期間満了後はデータ抹消ソフトにより電子データを完全削除し、紙媒体はシュレッダーで廃棄します。

・ 試料・情報管理責任者：

群馬大学大学院 保健学研究科

(教授 内田 陽子)

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22 電話 027-220-8931

・ 研究成果の帰属について

研究によって生じた成果・知的財産権が発生した場合、その権利は研究者または所属機関に帰属します。研究対象者に権利が生じることはありません。

・ 研究資金について

本研究は、研究責任者である齋藤貴之が獲得した共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) の研究費を充当します。利益相反管理は群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認・監督に従います。

・ 利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・ 「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・ 研究組織について

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 教授

氏名： 齋藤貴之

連絡先： 027-220-8938

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 教授
氏名： 内田陽子
連絡先： 027-220-8931

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 大学院生
氏名： 崎山恵里那
連絡先： 027-220-8931

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 助教
氏名： 佐藤文美
連絡先： 027-220-8931

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 大学院生
氏名： 菅沼華海
連絡先： 027-220-8931

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 大学院生
氏名： TSETSEGMMA SAINZAYA
連絡先： 027-220-8931

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 助教
氏名： 大川貴史
連絡先： 027-220-8804

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい

場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 教授

氏名： 齋藤 貴之

連絡先：〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

Tel：027-220-8938

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- （１）研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- （２）研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- （３）研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- （４）研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
 - ③利用する者の範囲
 - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法